

「(仮称) 第4次町田市地域福祉計画」の策定の方向性について

1 町田市地域福祉計画と町田市地域経営ビジョンの統合について

「(仮称) 第4次町田市地域福祉計画」について、2021年度に計画期間が満了する「町田市地域経営ビジョン2030」の後継計画と統合し、新たに名称を「(仮称) 町田市地域ホッとプラン」として策定を進めます。

(1) 計画統合の目的

① すべての人に分かりやすい計画とする

「第3次町田市地域福祉計画」と「町田市地域経営ビジョン2030」の両計画は、地域の課題解決を図り、継続的な地域社会づくりを行うことを目的とする点で共通しています。また、「町田市地域経営ビジョン2030」の取組として地区協議会の活動支援を行っていますが、その活動の多くは地域の福祉の増進に繋がるものであり、「第3次町田市地域福祉計画」の取組と一致することから、両計画を統合することですべての人に分かりやすい計画とします。

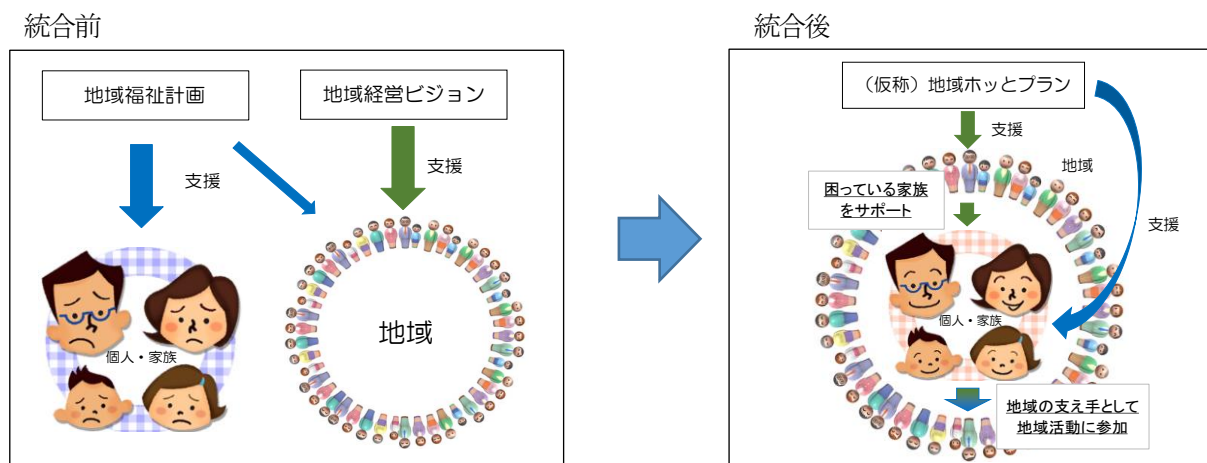
② 「地域」と「個人・家族」が相互に支える関係性を明確化した計画とする

「(仮称) 第4次町田市地域福祉計画」では、「ダブルケア」や「8050問題」など複合化・複雑化する地域課題に対応するため、個人や家族に身近な「地域」との協働をより一層進め、支援の充実を図る必要があります。

一方、「町田市地域経営ビジョン2030」では、これまで「地域・地域活動団体」への支援を中心に地域社会づくりを進めていますが、会員の減少や高齢化等により活動が困難となっている団体が見受けられることから、今後は活動の源である「個人」への働きかけを強めていく必要があります。

そこで、両計画を統合することで、目指すべき地域の姿を共有するとともに、「地域」と「個人・家族」が相互に支えている関係性を明確化した計画とします。

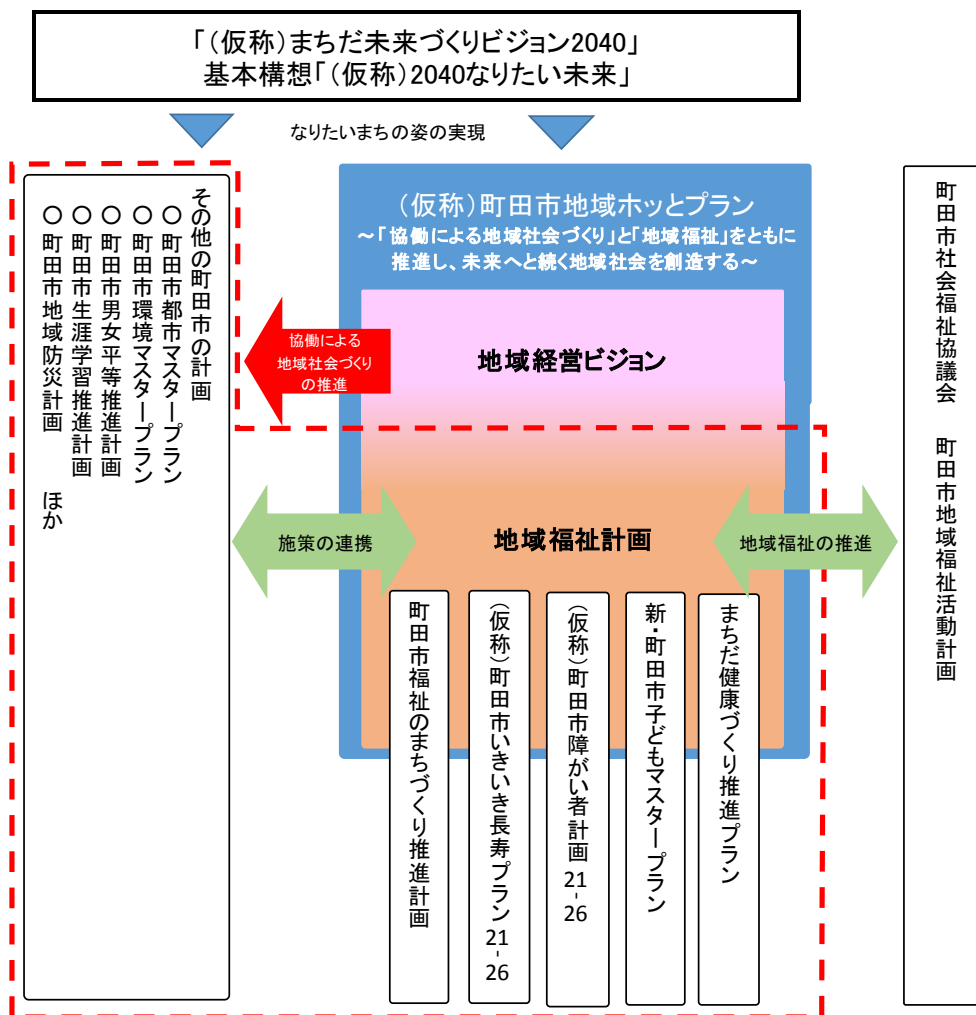
<参考> 地域と個人・家族の関係性のイメージ



(2) 統合後の計画体系

「(仮称) 町田市地域ホッとプラン」は、2021 年度に策定予定の上位計画である、町田市基本構想・基本計画「(仮称) まちだ未来づくりビジョン 2040」の「なりたいまちの姿」を実現するための部門計画です。

協働による地域社会づくりの方向性ととも、高齢者、障がい者、子ども、保健医療、その他の福祉の各分野における共通する施策の方向性を定めることで、「協働による地域社会づくり」と「地域福祉」をともに推進し、未来へと続く地域社会を創造します。



2 計画策定にあたっての課題と柱

計画策定にあたり、整理した5つの課題を「つながりづくり」、「新たな活力の創出」、「相談機能の強化・支援内容の充実」に分類し、3つの計画策定の柱とします。

(1) 課題

① 「自分ゴト」として地域活動に参加する人を増やす

地域では助け合い・支え合いの意向が高い傾向にある一方、地域活動への参加率は低い状況にあります。また、ライフスタイルや価値観の多様化が進み、地域とのかかわり方やつながりの強弱も人それぞれとなっています。このような状況の中で、いかに「自分ゴト」としての地域活動への参加を増やしていくかが課題となります。

② 時代の変化に対応した新しいつながりづくり

テクノロジーの急速な発展や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、暮らしや仕事のあり方が大きく変化しつつあります。そこで、新たなテクノロジーを活用した個人の「やりたいこと」「できること」と地域のニーズとのマッチングにより、多くのつながりを創出することが課題となります。

③ 多様な主体による地域課題解決のためのプラットフォームづくり

少子高齢化の急速な進展やライフスタイルや価値観の変容に伴い、地域の課題はより一層複雑化・複合化しており、このような課題を解決するためには、様々な主体が共通のビジョンをもって取り組まなければなりません。そこで、市民、企業、行政などが一体となるプラットフォームを構築し、新たな活力を生み出していくことが課題となります。

④ 必要な人に必要なサービスをつなげるための体制づくり

「ダブルケア」や「8050問題」など複合的な課題を有しているにもかかわらず必要なサービスに繋がることができず、生活に困窮する方の社会的な孤立が問題となっています。こういった問題に対応するため、市が地域と協働し、早期に支援につなげ、中長期的に見守る必要があることから、地域も含めた包括的な相談支援体制の構築が課題となります。

⑤ 災害時における一人一人の命を守る地域づくり

大規模災害では、犠牲者の多くが迅速に避難することが困難な高齢者や障がい者であることから、地域とともに避難行動要支援者をサポートする体制づくりが課題となります。

(2) 計画策定の柱

① 今を生きる自分に合ったつながりづくり【課題①②】

多様なライフスタイルや価値観がある中で、時に人々が集い、支え合う**ホッと**できるつながりをつくり、地域の課題解決を図ります。

② つながりの力が生み出す新たな活力【課題③】

つながりが**ホッと**な力を発揮できるよう、市民・企業・行政がタッグを組んで協働し、新たな活力を生み出し、地域の課題解決を図ります。

③ ワンチーム体制による相談・支援【課題④⑤】

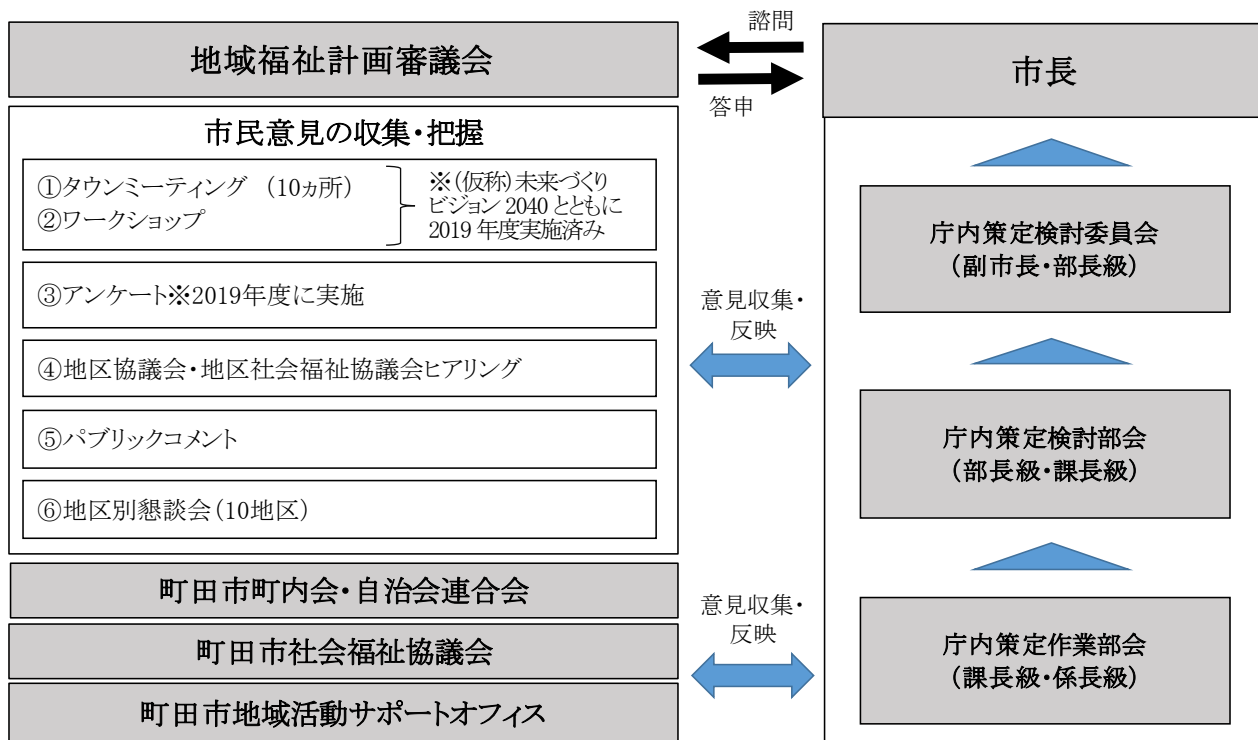
地域と行政が協働し、また行政内では各分野が横断的に連携し、相談機能の強化・支援内容の充実を図ります。困っている人を**ホッと**きません。

3 計画期間

「(仮称) 町田市地域ホッとプラン」の計画期間を「(仮称) まちだ未来づくりビジョン2040」の「(仮称) まちづくり基本目標」と合わせ、2022年度から2031年度までの10年間とします。ただし、地域や福祉を取り巻く環境変化に迅速に対応するため、2026年度に中間見直しを実施し、2027年度からの計画に反映します。

4 策定体制

外部の学識経験者及び各関連機関の代表者で構成する審議会を設置します。また、市民等からの意見を収集・把握するため、地区別懇談会などを実施します。さらに、庁内に策定検討委員会を設置し、その下部組織として、検討部会及び作業部会を設置します。



5 今後の主なスケジュール

| 日程 | | 内容 |
|--------|------------|----------------------------|
| 2020年度 | 9月 | 行政報告 (計画策定の方向性について) |
| | 9月～2021年8月 | 計画素案の検討・作成 |
| 2021年度 | 9月 | 行政報告 (計画素案について) |
| | 10月 | パブリックコメント実施 |
| | 12月 | 行政報告 (パブリックコメントの結果について) |
| | 1月 | 計画案の最終調整 |
| | 2月 | ・審議会から答申 ・計画策定完了 |
| | 3月 | 行政報告 (計画概要について) |